

オリンピックとおもてなし
～日本のおもてなしは外国人に歓迎されるのか～

永松 ひかる (21211256hn@tama.ac.jp)

2020年の夏季オリンピック開催が東京に決定した。オリンピックは世界の一大イベントであり、世界に対して発信力と求心力を持つ。そのため、それは世界の人々に日本や日本人を再確認させる場ともなる。東京は、オリンピック開催に向け、会場周辺を中心に交通網の整備や関係施設の建設などを進め、さらに老朽化しつつある多くの都市のインフラをもつくり変える計画をしている。その一方で、それ以上に2020年のオリンピックでは、日本の文化を世界にアピールする良い機会でもある。オリンピックはもともとスポーツの祭典のみならず、文化の表現の場でもある。日本は文化の面でも、世界に誇れるものを多く持っている。伝統芸能、漫画やアニメ、日本料理、ファッション、そして、さらに特筆すべきものとして、日本人の心を反映した質の高いサービス「おもてなし」がある。「おもてなし」は、日本が世界に誇れる魅力・価値の一つである。これは世界でもかなり合意されている事実である。昔から多くの日本人の心にある「おもてなし」は、相手を敬う心や姿勢・態度であるが、これはオリンピック期間中に日本を訪れる外国人観光客からも歓迎されるものである。

日本社会において、昔から存在する「おもてなし文化」＝無形の価値。現在でも、日本＝おもてなし文化の国と言われ、そのイメージは今や世界中で定着しているとも言える。

しかし、実際に全ての日本人が、「おもてなし」とは何で、どのような所が他国と違うのか、など…本当におもてなしを理解しているだろうか。それに加え、近年日本人から、このおもてなしの心が消えつつあるのではないだろうか。その理由として、2つの事が考えられる。まず一つは、日本は、この半世紀の間に、物的には豊かになったが、その反面、利他の心がなくなり、コミュニケーション能力も著しく低下してしまったことが考えられる。だからこそ、日本人は今、その大切さを再認識する必要があるのではないだろうか。二つ目は、このおもてなしが日本人と同様に、すべての外国人に喜ばれるとは限らない、という事である。日本人とは文化も違う外国人には、場合によって、それがありがた迷惑に感じるかもしれない。その為、日本人には多様な文化も受容する心や態度も求められるだろう。それは異文化理解でもある。オリンピックは、日本人がそのようなことを改めて学ぶ良い機会でもあるのではないだろうか。

とは言え、具体的には「おもてなし」とは何で、それがどのように他国と違うのだろうか、そこにはきっと日本人がもともと持っている資質がある。それを発見し、自覚し、発信していくことが出来れば、オリンピック成功に繋がるはずである。それを、この研究を通して考えていきたい。日本は世界の中でも、最も安全で、安心で、快適に過ごせ

る国でもある。これに日本人特有の優しさや、思いやり、きめ細かな気配りが加わればさらに良い。このような場面に遭遇すれば、誰であろうと、感激、感動、さらには驚きを覚え、その人の記憶に長い間残る。すなわち、国としても、日本人としても信頼を得ることが出来るのだ。また、東京オリンピックによる、経済効果も期待されているが、おもてなしも経済効果に大きく影響する。おもてなしを日本の競争力につなげられるかどうかという視点からも調べて行きたい。

参考文献；世界経済研究協会 (<http://www.sekaikeizai.or.jp/>)

文部科学省統計推理研究所 (<http://survey.ism.ac.jp/ks/table/index.htm>)